

高知市子ども・子育て支援事業計画の各論の修正内容について

区分	ご意見等	修正前	修正後の案
1-1	<p>○ 母子健康手帳交付時における面接などの妊娠期からの関わりにより、出産・子育て期への切れ目のない支援につなげていく取組の反映 (事務局による修正)</p>	<p>今後の方向性（1つ目の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠期に適切な母体管理ができるよう医療機関との連携を強化し、妊婦健康診査の重要性の啓発や早産の恐れがある妊婦への支援を行います。<u>また、若い女性に健康への意識づけを行います。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠期に適切な母体管理ができるよう医療機関との連携を強化し、妊婦健康診査の重要性の啓発や早産の恐れのある妊婦への支援を行います。 ・ <u>妊娠期からの関わりにより、出産・子育て期への切れ目のない支援につなげていくために、母子健康手帳交付時の専門職による面接をはじめ、必要な情報提供や支援が行える体制を整備していくとともに、気軽に相談できる存在として母子保健コーディネーター等の配置を進めます。</u> ・ <u>喫煙、飲酒、歯周病などの知識の普及や啓発を行うことにより、若い女性の健康への意識を高め、早産予防などにつなげていきます。</u>

区分	ご意見等	修正前	修正後の案
1-2	<p>○ 妊娠期から乳児健診，1歳6か月，3歳児健診の重要性を伝える工夫が必要ではないか。</p>	<p>今後の方向性（2つ目の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者が子どもの成長発達を喜び，<u>健診や予防接種などを通して乳幼児期における適切な健康管理ができるように支援</u>します。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>乳幼児期における健康診査や予防接種の重要性について啓発を行うとともに，保護者が子どもの成長発達を喜び，健康診査や予防接種などを通して乳幼児期における適切な健康管理ができるように支援</u>します。
	<p>○ 幼児，小・中学校では早期発見，支援の取組が進められている一方で，高校等で周囲や環境に適応できず，引きこもり・不登校になり，長期に引きこもった後，発達障害と診断されるケースもある。支援が遅れることにより二次障害が深刻化するケースや他の精神疾患との鑑別が困難になるケースがあり，早期の対応・対策が重要である。この相談窓口が明確に周知される取組が必要と考える。</p>	<p>今後の方向性（3つ目の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> 心身の成長発達に支援の必要な子どもについては，保護者の不安を軽減し，<u>必要な情報を提供することで適切な支援ができるように取り組みます。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> <u>子どもの成長や発達に関する相談窓口の周知を図るとともに，心身の成長発達に支援の必要な子どもについては，保護者の不安を軽減し，必要な情報を提供するなど適切な支援を行います。</u>

区分	ご意見等	修正前	修正後の案
1-3	<p>○ 摂食が思うようにできないことで、自傷・他害へと向かうこともあり、学校だけで抱えず、養護教諭から積極的に行政へ情報提供をし、必要があれば医療機関へつないでほしい。</p> <p>○ 思春期の対応は、本人・家族・学校の相互の信頼関係の構築が必要なので、相談しやすい環境整備を望む。</p> <p>○ 電話相談できる窓口を設けてはどうか。（既にあるのなら周知を行う。）</p>	<p>今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが基本的な生活習慣を身につけ、実践できる力を養うとともに、大切にされてきた生命であることを理解し、自分自身を大切にして自分の健康は自ら守るという意識を育てることが大切です。そのために養護教諭への情報提供など関係機関と連携を深めながら、継続して取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが基本的な生活習慣を身につけ、実践できる力を養うとともに、大切にされてきた生命であることを理解し、自分自身を大切にして自分の健康は自らが守るという意識を持つことができるように、学校、保健所などの関係機関が連携を深めながら、<u>基本的な生活習慣に関する指導や相談体制の充実などに継続して取り組みます。</u>
1-5	<p>○ 保護者は、救急を受診する判断材料に乏しく、不安から安易な救急医療の受診につながるケースも多い。小児救急（二次救急も）の案内のとき、保護者が判断に迷う状況にある場合など、「こうち子ども救急ダイヤル」への相談も勧めて良いのではないかと。</p>	<p>今後の方向性（3つ目の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> 安易な救急医療の受診（コンビニ受診）の増加が懸念されており、真に医療を必要とする患者が適切に受診できるように、<u>「こうち医療ネット」のリーフレット等の配布</u>により、救急時の対処方法に関する啓発を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 安易な救急医療の受診（コンビニ受診）の増加が懸念されており、真に医療を必要とする患者が適切に受診できるように、<u>「こうち子ども救急ダイヤル」の周知等</u>により、救急時の対処方法に関する啓発を図ります。

区分	ご意見等	修正前	修正後の案
2-1	○ 幼稚園の文字がひと文字もないので、幼稚園は果たしてどうなっているのか。	<p>今後の方向性(提供区域の設定 2段落目)</p> <p>保育所を利用する場合の施設の立地条件としては、自宅又は勤務先に近い場所、若しくは自宅から勤務先への通勤途上を選択するケースが多く、中心市街地は勤務先となる事業所が一定集積していることから、中心市街地から東西に区域を分割することは、利用実態に即した区域設定になると考えられます。</p>	<p><u>幼稚園は広域から通園している現状</u>ありますが、<u>保育所を利用する場合の施設の立地条件</u>としては、自宅又は勤務先に近い場所、若しくは自宅から勤務先への通勤途上を選択するケースが多く、中心市街地は勤務先となる事業所が一定集積していることから、中心市街地から東西に区域を分割することは、利用実態に即した区域設定になると考えられます。</p>
		<p>今後の方向性(確保方策)</p> <p>認定こども園制度の改善、保育所等の認可制度の改善、地域型保育事業の創設、職員の処遇向上等により、0歳から2歳までの低年齢児の保育ニーズへの対応を中心に、質の確保された教育・保育の受け皿を拡大し、平成29年度末までに待機児童を解消するとともに、各提供区域における量の見込みに対して、提供体制を確保していきます。</p>	<p><u>従来の幼稚園、保育所等に加え</u>、認定こども園制度の改善、保育所等の認可制度の改善、地域型保育事業の創設、職員の処遇向上等により、0歳から2歳までの低年齢児の保育ニーズへの対応を中心に、質の確保された教育・保育の受け皿を拡大し、平成29年度末までに待機児童を解消するとともに、各提供区域における量の見込みに対して、提供体制を確保していきます。</p>

区分	ご意見等	修正前	修正後の案
2-1	○ 幼稚園の文字がひと文字もないので、幼稚園は果たしてどうなっているのか。	<p>今後の方向性（適切な情報提供など）</p> <p>多様な<u>保育ニーズ</u>に対応できるように、教育・保育の利用についての選択の幅を広げるとともに、教育・保育施設や地域型保育事業に関する情報集約を行い、利用者からの問い合わせや相談に応じ、必要な情報提供・助言をします。特に、産後の休業や育児休業後に利用する場合など、施設等を円滑に利用できるようにしていきます。</p>	<p>多様な<u>教育・保育ニーズ</u>に対応できるように、教育・保育の利用についての選択の幅を広げるとともに、教育・保育施設や地域型保育事業に関する情報集約を行い、利用者からの問い合わせや相談に応じ、必要な情報提供・助言をします。特に、産後の休業や育児休業後に利用する場合など、施設等を円滑に利用できるようにしていきます。</p>
2-2	○ 幼稚園教諭と保育士の合同研修に対する支援に関する内容について、保育士の表現は、落としたのか、それとも保育士を中心に考えての幼稚園教諭との研修となっているのか。	<p>今後の方向性（幼稚園教諭と保育士の合同研修に対する支援に関する内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園教諭との合同研修については、<u>県</u>と連携を図りながら取組を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園教諭と<u>保育士</u>の合同研修については、<u>高知県</u>と連携を図りながら取組を推進します。

区分	ご意見等	修正前	修正後の案
3-3	<p>○ コストも重要だが、それを抑えるための民営となると、低価格・低単価による契約が増加し、公共サービスの質の低下とともに従事する労働者の賃金や労働条件の低下が懸念される。公的事业で利益を売る企業と公的機関は、労働条件の保障と確保するための責任をそれぞれ負っているという認識を共通のものとしてほしい。</p> <p>○ 「公設民営（委託）等コストを抑えた」と、自ら公がやったら高いような書き方をしているが、公のほうも安くできるかを考えて、本当に委託しないとできないのか、最初から民営化して委託したほうが安いではなく、民間と何が違うのかというところをもう少し掘り下げていただきたい。</p>	<p>今後の方向性（2つ目の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の放課後児童クラブについては、今後も待機児童ゼロの取組を継続するとともに、対象年齢の拡大による利用者数の増加が見込まれるため、<u>公設民営（委託）等コストを抑えた運営方法の検討や民間事業者の事業参入などにより必要なクラブ数を確保していきます。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の放課後児童クラブについては、今後も待機児童ゼロの取組を継続するとともに、対象年齢の拡大による利用者数の増加が見込まれるため、<u>民間事業者の事業参入などを含めて必要なクラブ数を確保していきます。また、高知県等と連携して放課後児童クラブに従事する放課後児童支援員の研修の充実を図り、さらなる質の向上を目指します。</u>
5-2	<p>○ 高知チャレンジ塾で行われている学習支援の取組の反映 (事務局による修正)</p>	<p>今後の方向性（3つ目の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>子ども会活動の充実</u>により、多くの子どもたちの居場所づくりと、学力、進路保障を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>高知チャレンジ塾、子ども会活動などの学習支援の取組</u>により、多くの子どもたちの居場所づくりと、学力、進路保障を進めます。